

野々市市議会 第1回 報告会

- ① 携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、マナーモードに設定するか、電源をお切りいただきますよう、音源にご配慮の程宜しくお願ひします。
- ② 個人情報には十分配慮し、報告会状況を「議会だより・市議会ホームページ」に掲載させて頂きたく、写真撮影をさせていただきますので、ご理解とご協力の程宜しくお願ひします。

野々市市議会 第1回 報告会

～もっと知って！野々市市議会～

議会報告会 式次第

- 1 開会
- 2 議長挨拶
- 3 市議会議員の紹介
- 4 令和6年度野々市市当初予算の報告
(予算決算常任委員会からの報告)
- 5 休憩 (10分)
- 6 総務産業常任委員会からの報告
- 7 教育福祉常任委員会からの報告
- 8 議会改革特別委員会からの報告
- 9 スポーツ施設等特別委員会からの報告
- 10 事前にいただいたご質問・ご意見の回答
- 11 閉会

議会報告会 式次第

議長の挨拶

議会報告会 式次第

市議会議員の紹介

市議会議員の紹介



氏名	北村 大助(きたむら だいすけ)
住所	稲荷四丁目
所属政党名	無所属
会派	—
当選回数	3回
所属委員会	
フェイスブック	北村大助 Facebook <外部リンク>

市議会議員の紹介



氏名	安原 透(やすはら とおる)
住所	郷一丁目
所属政党名	無所属
会派	野々市フォーラム
当選回数	3回
所属委員会	教育福祉常任委員会 予算決算常任委員会 委員長 議会運営委員会 副委員長 議会改革特別委員会 委員長
ホームページ	安原とおるHP<外部リンク>

市議会議員の紹介



氏名	岩見 博(いわみ ひろし)
住所	御経塚一丁目
所属政党名	日本共産党
会派	日本共産党
当選回数	12回
所属委員会	総務産業常任委員会 予算決算常任委員会 スポーツ施設等特別委員会
メールアドレス	h11@shore.ocn.ne.jp

市議会議員の紹介



氏名	中村 義彦(なかむら よしひこ)
住所	本町二丁目
所属政党名	無所属
会派	野々市フォーラム
当選回数	4回
所属委員会	総務産業常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会 委員長 スポーツ施設等特別委員会 委員長
フェイスブック	中村義彦 Facebook <外部リンク>

市議会議員の紹介



氏名	西本 政之(にしもと まさゆき)
住所	清金三丁目
所属政党名	無所属
会派	—
当選回数	4回
所属委員会	教育福祉常任委員会 予算決算常任委員会 議会改革特別委員会

市議会議員の紹介



氏名	向田 誠市(むこうだ せいいち)
住所	中林二丁目
所属政党名	無所属
会派	野々市フォーラム
当選回数	2回
所属委員会	教育福祉常任委員会 委員長 予算決算常任委員会 議会運営委員会 議会改革特別委員会

市議会議員の紹介



氏名	小堀 孝史(こぼり たかし)
住所	上林四丁目
所属政党名	無所属
会派	野々市フォーラム
当選回数	2回
所属委員会	総務産業常任委員会 委員長 予算決算常任委員会 議会運営委員会 議会改革特別委員会

市議会議員の紹介



氏名	朝倉 雅三(あさくら まさみ)
住所	押野一丁目
所属政党名	無所属
会派	無名
当選回数	2回
所属委員会	総務産業常任委員会 予算決算常任委員会 スポーツ施設等特別委員会

市議会議員の紹介



氏名	梅野 智恵子(うめの ちえこ)
住所	御経塚一丁目
所属政党名	無所属
会派	みのりの会
当選回数	2回
所属委員会	教育福祉常任委員会 予算決算常任委員会 議会改革特別委員会

市議会議員の紹介



氏名	畠中 勝己(はたなか かつみ)
住所	粟田二丁目
所属政党名	無所属
会派	野々市フォーラム
当選回数	1回
所属委員会	総務産業常任委員会 副委員長 予算決算常任委員会 スポーツ施設等特別委員会

市議会議員の紹介



氏名	田中 陽子(たなか ようこ)
住所	本町三丁目
所属政党名	無所属
会派	野々市フォーラム
当選回数	1回
所属委員会	教育福祉常任委員会 副委員長 予算決算常任委員会 議会改革特別委員会

市議会議員の紹介



氏名	中村 和流(なかむら せせらぎ)
住所	下林四丁目
所属政党名	無所属
会派	あおばの会
当選回数	1回
所属委員会	教育福祉常任委員会 予算決算常任委員会 スポーツ施設等特別委員会
ホームページ	中村せせらぎHP<外部リンク>
メールアドレス	mail@sesseragi-n.info

市議会議員の紹介



氏名	木谷 直子(きたに なおこ)
住所	本町三丁目
所属政党名	公明党
会派	公明
当選回数	1回
所属委員会	教育福祉常任委員会 予算決算常任委員会 スポーツ施設等特別委員会 副委員長

市議会議員の紹介



氏名	三納 昭博(さんのう あきひろ)
住所	三納二丁目
所属政党名	無所属
会派	野々市フォーラム
当選回数	1回
所属委員会	総務産業常任委員会 予算決算常任委員会 副委員長 スポーツ施設等特別委員会

市議会議員の紹介



氏名	西村 雅博(にしむら まさひろ)
住所	押野一丁目
所属政党名	無所属
会派	あおばの会
当選回数	1回
所属委員会	総務産業常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会 議会改革特別委員会 副委員長

令和6年度野々市市 当初予算の報告 (予算決算常任委員会)

予算及び決算に関する事項

委員長 西本 政之
副委員長 三納 昭博
委員 木谷 直子、中村 和流、西村 雅博、
田中 陽子、畠中 勝己、梅野 智恵子、
朝倉 雅三、小堀 孝史、向田 誠市、
安原 透、中村 義彦、岩見 博



令和6年度 当初予算(案)の概要

SDGs 未来都市
! ののいち



令和6年2月19日

 野々市市
NONOICHI CITY

令和6年度 当初予算(案)規模

一般会計

235億5,000万円
(対前年度比 29億1,000万円の増 14.1%増)

特別会計・企業会計

121億6,500万円
(対前年度比 3,600万円の減 0.3%減)

全会計

357億1,500万円
(対前年度比 28億7,400万円の増 8.8%増)

一般会計

235億5,000万円 (対前年度比 29億1,000万円の増 14.1%増)

国民健康保険特別会計

43億1,100万円 (対前年度比 1億3,000万円の減 2.9%減)

後期高齢者医療保険特別会計

7億 800万円 (対前年度比 7,600万円の増 12.0%増)

介護保険特別会計

31億6,600万円 (対前年度比 1億1,600万円の増 3.8%増)

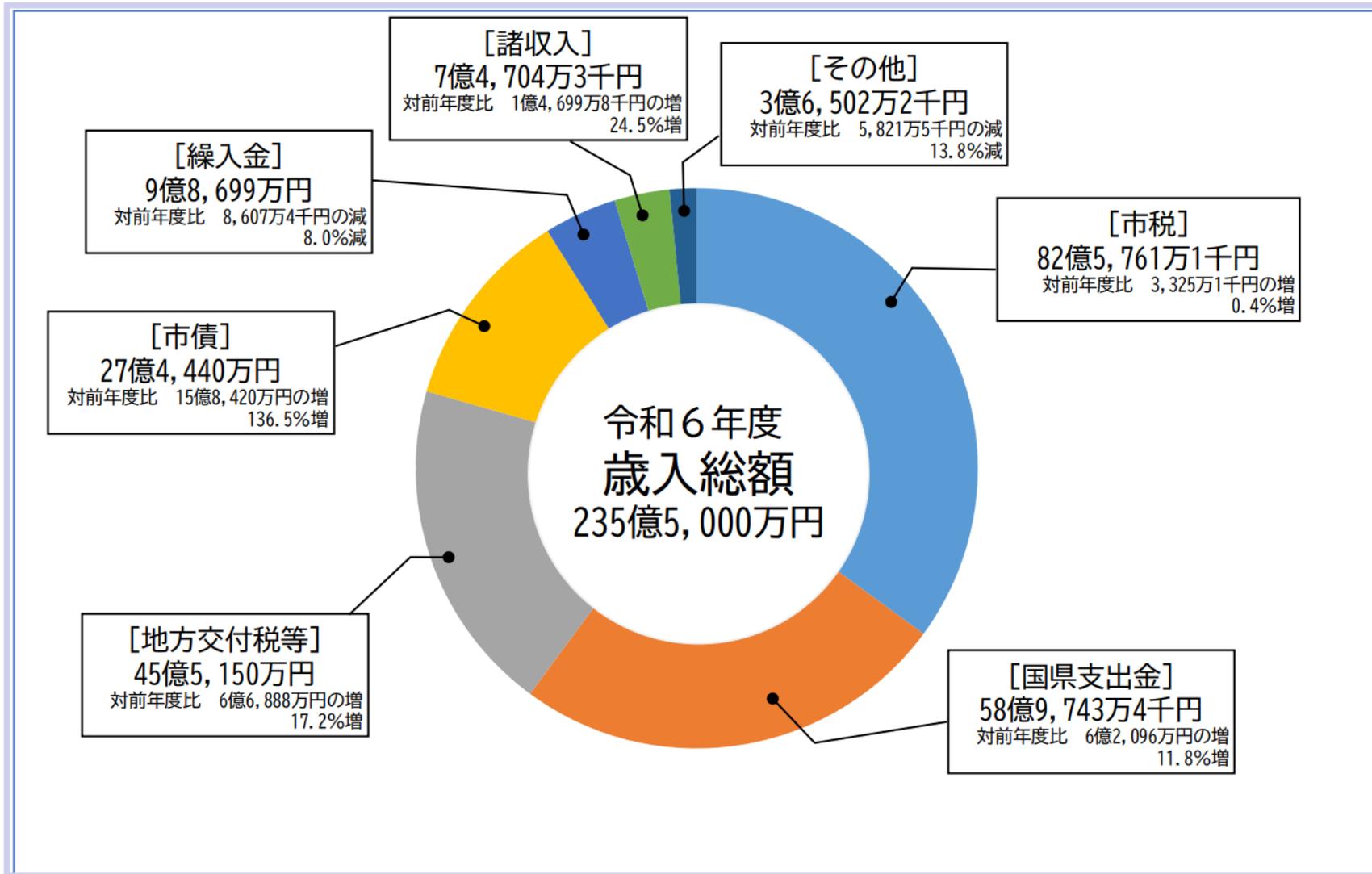
水道事業会計

15億円 (対前年度比 3,900万円の減 2.5%減)

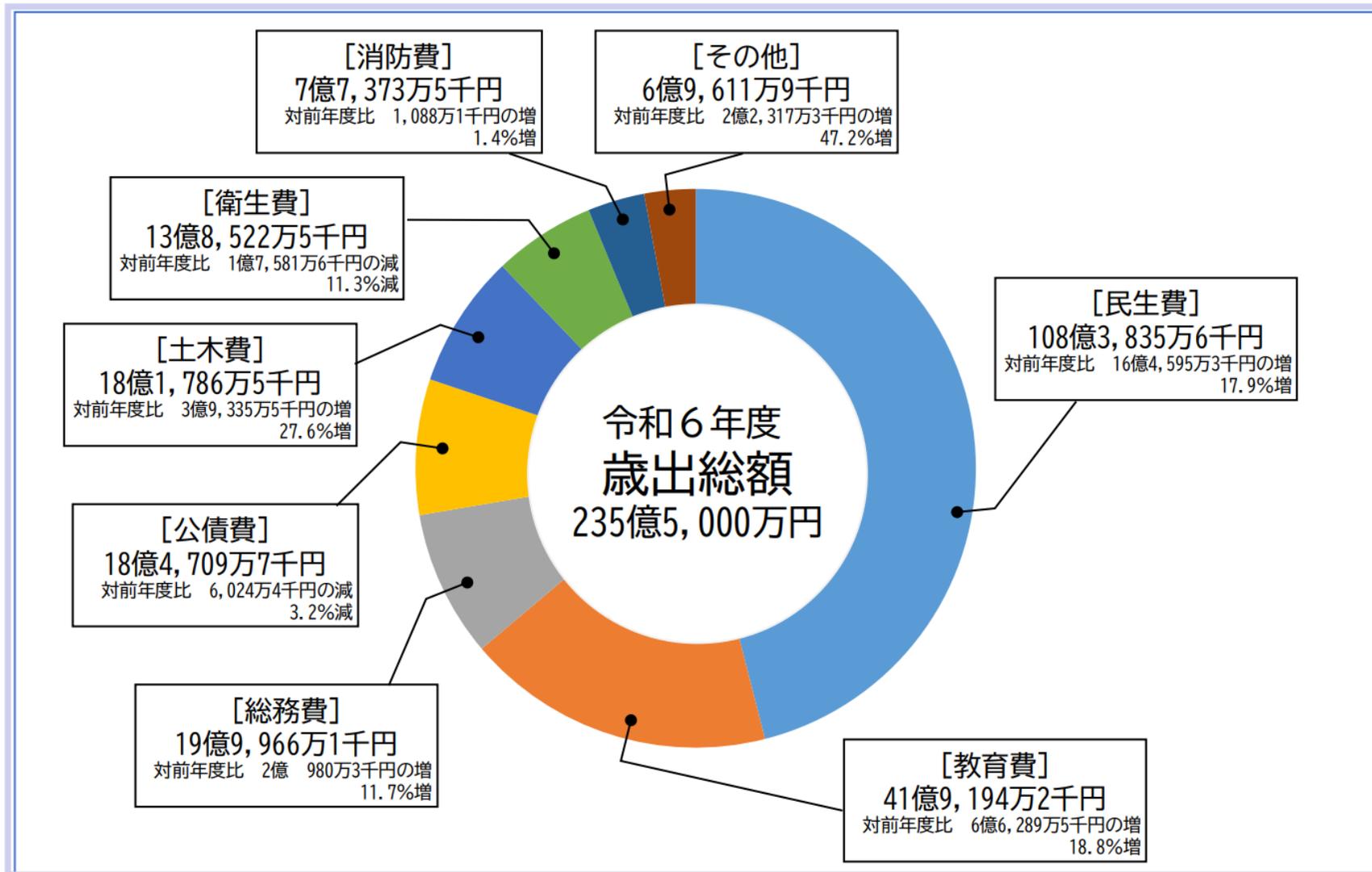
公共下水道事業別会計

24億8,000万円 (対前年度比 2,500万円の増 1.0%増)

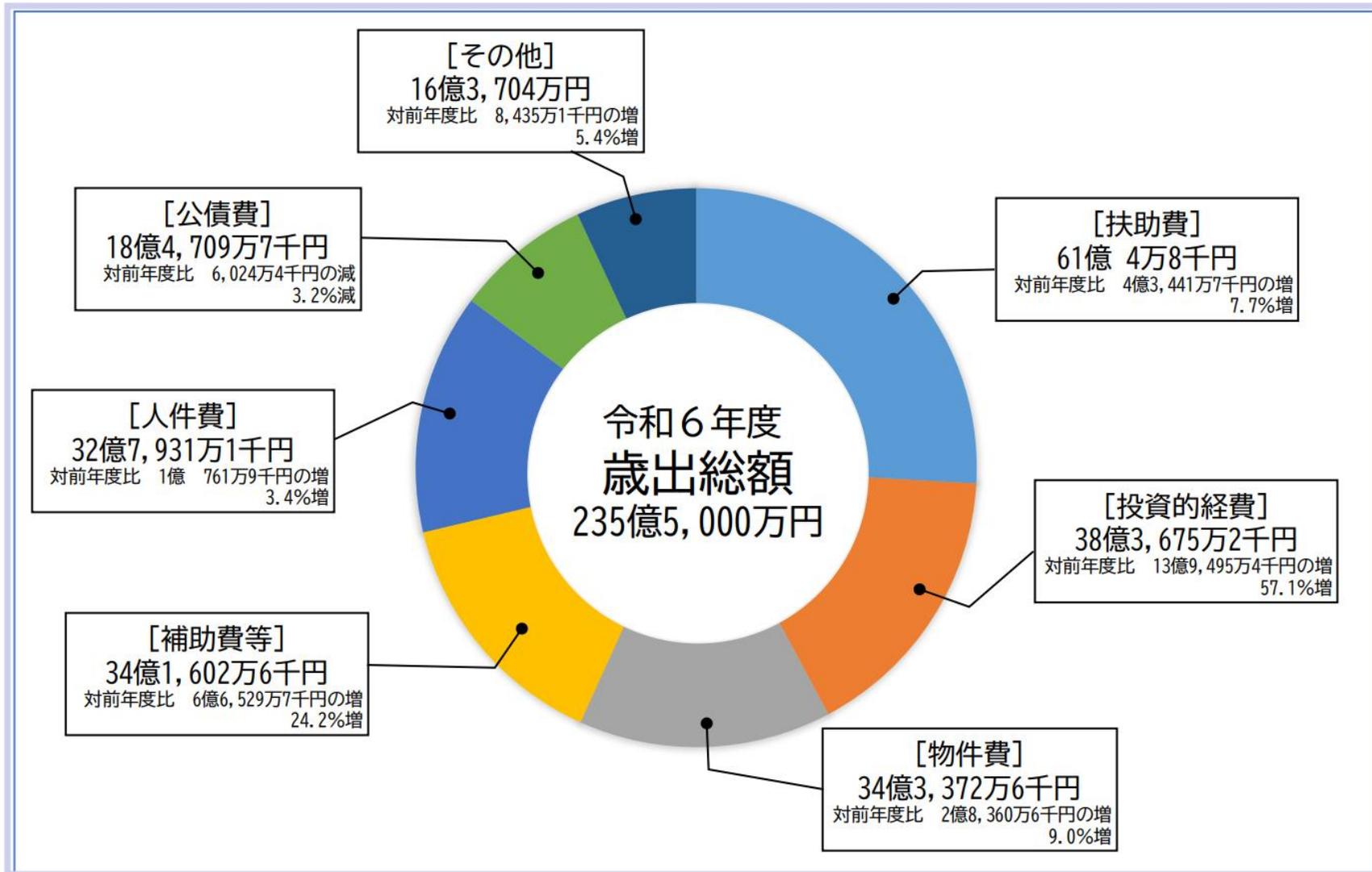
※墓地特別会計は廃止し、一般会計に帰属



歳出の状況【款別内訳】



歳出の状況【性質別内訳】



将来都市像

かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティののいち

市民協働のまちづくり

SDGsの推進

「野々市ファン」の拡大

コンパクトな市域につまった市の魅力を、市民みんなで磨いていくことで、
多くの人に大きなインパクトを与えることができる、**かがやきあふれる野々市市** をめざします。

重点ポイント

1

安全安心なまちづくりの推進

～計画的な公共施設の改修及び避難所の機能強化～

2

SDGsの推進

～SDGs未来都市推進事業を主軸とした事業展開～

3

GXの推進

～ゼロカーボンシティ宣言をもとにしたカーボンニュートラルの推進～



安全安心なまちづくりの推進

- 学校体育館、スポーツ施設の空調整備
- (仮称)ののいち子育てステーション整備事業
- 文化会館フォルテ改修工事
- 中学校給食センター大規模改修工事
- (仮称)野々市つばきの杜センター建設事業
- 教育センター大規模改修事業
- 市立保育園大規模改修事業



●学校体育館、スポーツ施設の 空調整備

【予算額】25,000千円

<新規>

教育総務課
スポーツ振興課

防災機能の強化や熱中症対策など教育環境とスポーツ環境の改善に向けて、小中学校体育館やスポーツ施設への空調整備を順次実施します。

令和6年度は野々市中学校体育館、スポーツセンターと武道館への空調整備に向けた実施設計を行います。





●(仮称)のいち子育てステーション 整備事業

【予算額】861,000千円

< 継続 >

子育て支援課

公共施設個別施設計画に基づき、中央保育園の大規模改修を行います。従来の3歳未満児専用保育に加え、子育て支援センター菅原と発達相談センターを集約するとともに、子どもと子育て家庭の総合相談機能を併せ持つ複合施設として再整備を行います。





●文化会館フォルテ改修工事

【予算額】608,825千円

< 継続 >

地域振興課

公共施設個別施設計画に基づき、文化会館フォルテの特定天井改修・屋上防水改修・照明LED化などの改修工事を行います。





● 中学校給食センター大規模改修工事

【予算額】632,000千円

< 継続 >

教育総務課

公共施設個別施設計画に基づき、安全安心でおいしい給食の提供に向け、老朽化した施設や調理設備などの改修工事を行います。





●(仮称)野々市つばきの杜センター 整備事業 実施設計

【予算額】48,000千円

<新規>

介護長寿課

公共施設個別施設計画に基づき、老人福祉センター椿荘、中央児童館、旧いきがいセンター矢作を一体的に改修し、社会福祉協議会の移設及び高齢者と子育て世帯が交流できるスペースの新設など、複合的に福祉サービスを提供する施設整備に向けた実施設計を行います。





予算編成の重点ポイント ～ 安全安心なまちづくりの推進 ～

●教育センター大規模改修事業 (実施設計)

【予算額】12,000千円

<新規>

教育総務課

公共施設個別施設計画に基づき、老朽化した施設や設備などの改修に向けた実施設計を行います。これにより利用者の多様なニーズに合った教育環境や学習環境の整備を目指します。





●市立保育園大規模改修事業

【予算額】9,200千円

<新規>

子育て支援課

公共施設個別施設計画に基づき、施設の長寿命化と保育環境の改善を図るため、市立保育園を順次改修します。令和6年度は富奥保育園改修の実施設計を行います。



予算編成の重点ポイント ～ SDGsの推進 ～



SDGsの推進

【予算額】9,863千円

- SDGs未来都市推進事業を主軸とした事業展開



「SDGs未来都市計画」を主軸とし、経済・社会・環境のそれぞれの分野で事業を展開し、好循環をめざします





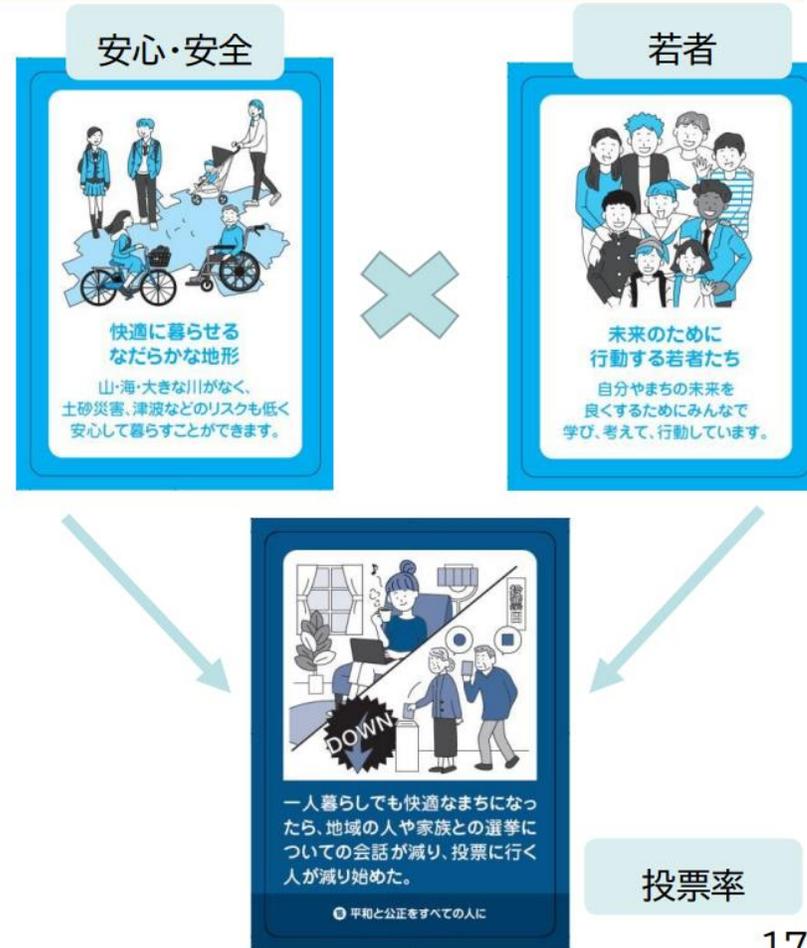
予算編成の重点ポイント ～ SDGsの推進 ～

ゲーミフィケーション教材を活用したSDGs教育の推進
SDGsの課題解決の考え方を学ぶ授業・研修など

SDGsカードゲームX
野々市市オリジナル版



例)



予算編成の重点ポイント ～ SDGsの推進 ～



- ・市民向けワークショップの開催
- ・市民と行政をつなぐ市民参加合意形成プラットフォーム(Liquid)を活用したまちづくり(市民からの意見反映)



環境



太陽光



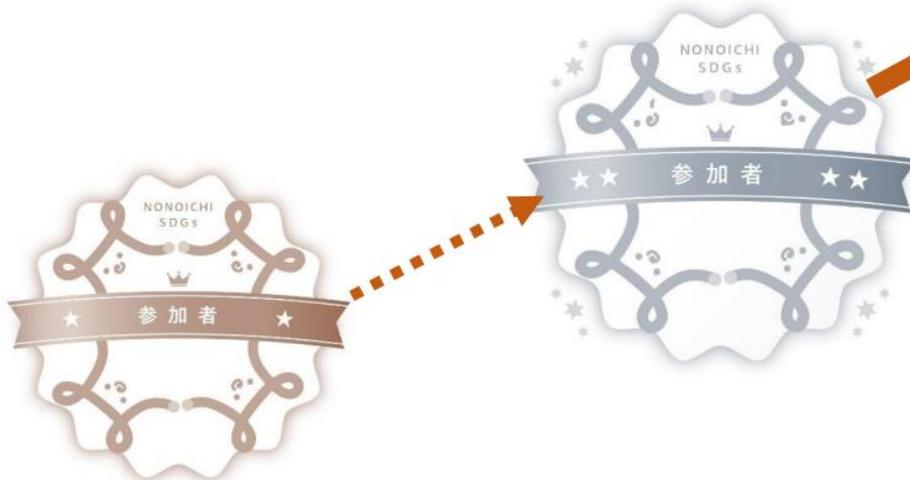


予算編成の重点ポイント ～ SDGsの推進 ～

オープンバッジ(デジタル証明)制度の導入

ワークショップの参加回数等により、オープンバッジを付与
経験やスキルの“見える化”により、モチベーションの向上につなげる

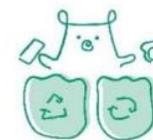
ワークショップへの
参加回数等により
バッジのランクがアップ





G Xの推進

- カーボンニュートラル推進事業
- ののいちサステナブル住宅支援事業
 - ・ ののいち環境きくばり住宅
 - ・ ののいち木のぬくもり住宅
- 公共施設の照明LED化の促進



●カーボンニュートラル推進事業

【予算額】11,990千円

<新規>

市民生活課

ゼロカーボンシティ宣言に基づき、公共施設への太陽光発電設備等の導入調査や、ゼロカーボンシティPRロゴマークを活用した各種プロモーション、イベント等での啓発活動を行います。これによりカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進します。





予算編成の重点ポイント ～ GXの推進 ～

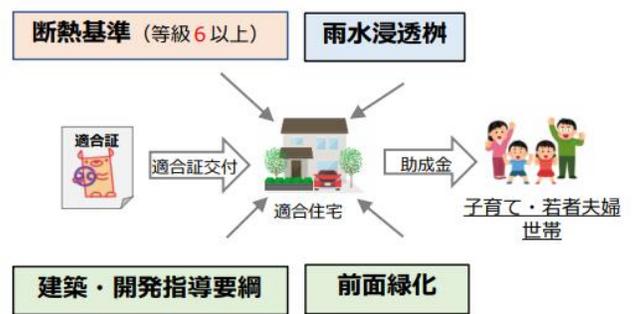
●ののいちサステナブル住宅支援事業

ののいち環境きくばり住宅

<新規> 建築住宅課 【予算額】4,100千円

地球環境(温暖化対策+災害対策等)に配慮した新築住宅の普及に向けて、適合証の交付や子育て世帯等への助成を行います。

※令和7年度までの時限制度



ののいち木のぬくもり住宅

<新規> 土木課 【予算額】2,565千円

県産材を利用した住宅を新築(建売含む)または増改築をした方に対して補助します。このことにより、森林資源の循環利用を促進します。



【県産材】



予算編成の重点ポイント ～ GXの推進 ～

●公共施設の照明LED化の促進

【予算額】 393,999千円

<継続>

ゼロカーボンシティの実現に向けて、公共施設のLED化を順次進めます。令和6年度は市役所、文化会館、公民館、児童館などで工事を実施します。





その他の主な事業

- 野々市中央公園拡張整備事業
- 北国街道出店等支援事業補助制度の創設





●野々市中央公園拡張整備事業

【予算額】204,309千円

< 継続 >

都市整備課

「健康・交流・防災」をテーマとした新たな拠点創出に向けて、順次事業を進めていきます。令和6年度は用地取得や用水振替工事などを行います。





予算編成のポイント ～その他の主な事業～

●北国街道出店等支援事業 補助制度の創設

【予算額】1,000千円

<新規>

地域振興課

歴史的街並みの豊かな旧北国街道沿い(歴史的街並み保全エリア)の新たなにぎわい創出を後押しするため、出店経費(改修工事費、設備取得費など)の一部を補助する制度を創設します。



総務産業常任委員会

総務部（4課）、地域政策部（3課）、建設部（4課）、会計課、議会事務局及び監査委員の所管に属する事項、並びに公営企業に関する事項

（公営企業：水道事業、公共下水道事業）

委員長 小堀 孝史

副委員長 畠中 勝己

委員 三納 昭博、西村 雅博、朝倉 雅三、
中村 義彦、岩見 博

総務部から提出された 主な審議事項

- 4月に実施された選挙の投票率について【総務課】
- 庁内の文書管理について【総務課】
- 市税と料金のクレジットカード納付サービス
終了について【税務課】
- 災害時の職員の派遣について【秘書課】

(2023.7 津幡で豪雨)

総務部の具体的審議事例

- 「SDGs（地球規模の課題目標）未来都市」の選定
- ・ 令和5年5月22日に内閣府から選定された
今後、本市はワークショップやゲーム体験により
取り組み活動を支援 【企画財政課】



地域政策部から提出された 主な審議事項

- ・ じょんからまつりの運営について 【地域振興課】
- ・ 百万石文化祭の実施結果について 【地域振興課】
- ・ 他市とのジェンダー平等に関するパートナーシップ
連携協定締結について（津幡町、かほく市）

【市民協働課】

地域政策部の 具体的審議事例

野々市じょんからまつり開催結果 【地域振興課】

- ・ 4年ぶりに盛大に開催された
 - ・ 7月は熱中症に注意が必要
- 今後、開催時期を実行委員会で検討する



建設部から提出された 主な審議事項

- 令和5年度道路除雪計画について 【土木課】
- 令和5年度水防実施計画について 【土木課】
(2023.8 本市で溢れた用水の個所を重点監視)
- 長池土地区画整理事業について 【都市整備課】
- 北陸鉄道石川線の存続について 【都市整備課】
(8月に石川中央都市圏地域公共交通協議会
において存続を決定)

建設部の具体的審議事例

令和5年度道路除雪実施計画について【土木課】)

- ・ 町内会への除雪費補助事業の新設（11月）
→ 市雪害対策本部（★積雪は60cm）が設置された場合で町内会が主体的に実施した市道の除雪費用の一部を補助



教育福祉常任委員会

健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項

委員長 向田 誠市

副委員長 田中 陽子

委員 木谷 直子、中村 和流、梅野 智恵子、
安原 透、西本 政之



教育福祉常任委員会

◎教育福祉常任委員会は、2部8課に係る案件について、慎重審議を行っております

◎所管する担当部署

・ **健康福祉部 5課**

福祉総務課、介護長寿課、保険年金課

子育て支援課、健康推進課（保健センター）

・ **教育部（教育委員会） 3課**

教育総務課（小・中学校給食センター含む）

生涯学習課、スポーツ振興課

健康福祉部の審議事項

◎福祉総務課

- 障がい者への福祉支援について
- 地方創生臨時交付金
活用事業について



◎介護長寿課

- 少子高齢化時代に伴う高齢者福祉について
- (仮称)ののいちつばきの杜センター
施設整備について

◎保険年金課

- ・健康保険の保険料について

◎子育て支援課

- ・保育園、放課後児童クラブなどの状況や整備について
- ・（仮称）ののいち子育てステーションの整備について



◎健康推進課（保健センター）

- ・市民の健康管理と健康維持について
- ・新型コロナウイルス感染症について



教育部（教育委員会）の審議事項

◎教育総務課

- ・ いじめなど学校や児童・生徒の教育に関する問題について
- ・ 給食センターをはじめ教育施設の整備について



◎生涯学習課

- ・ 伝統文化の伝承、旧北国街道沿いの街並み保存
- ・ 文化財の維持管理や発掘調査について

◎スポーツ振興課

- ・ スポーツ施設の維持管理
について
- ・ 市民の健康維持のための
スポーツについて



議会改革特別委員会

議会改革に関する事項

議会の活性化に関する事項

委員長 西本 政之

副委員長 西村 雅博

委員 田中 陽子、梅野 智恵子、小堀 孝史、
向田 誠市、安原 透

議会改革特別委員会 これまでの経緯

令和元年 9 月

議会改革・活性化特別委員会を設置

令和 2 年 12 月 21 日
～令和 3 年 1 月 20 日

「野々市市議会基本条例」制定の為の
パブリックコメントを実施

令和 3 年 3 月 定例会

「野々市市議会基本条例」制定

令和 5 年 6 月

議会改革特別委員会を設置
野々市市議会基本条例を踏まえ、報告会
の実施について検討

令和 6 年 3 月

第 1 回議会報告会開催

これからの検討課題
令和 6 年 8 月

高校生議会開催（予定）

※今後の議会報告会の検討

議会基本条例の制定

議会基本条例の目的

議会が市民の代表としてふさわしい活動をし活性化を進めていくためには、**議会の最高規範**である「議会基本条例」の制定が重要との考えから、議論を重ねてまいりました。

市政全般についての**課題**や**市民の意見**、**要望**を**的確に把握**すること、**議会報告会**などを**有効に活用**すること、また**常任委員会**や**特別委員会**での情報を公開し、**透明性を高める**ことを規定することにより、**議会が市民の負託に応え**、**市民生活の向上**に寄与することを目的とします。

議会基本条例の条項

第1章 総則（第1条—第3条）

第2章 市民が参加する開かれた議会（第4条—第7条）

第3章 監視する議会（第8条・第9条）

第4章 審議する議会（第10条—第14条）

第5章 政策提案する議会（第15条—第17条）

第6章 政務活動費（第18条）

第7章 議会の災害対応（第19条—第21条）

第8章 議員の政治倫理、身分及び待遇（第22条—第24条）

第9章 最高規範性で見直し手続き（第25条・第26条）

議会報告会の開催

第2章 市民が参加する開かれた議会

(議会報告会)

第6条 議会は、市政の諸問題に柔軟に対応するため、市政全般にわたって、議員及び市民が自由に情報及び意見を交換する場として、議会報告会を開催するものとする。

(飯田市議会：ホームページより引用)



高校生議会開催の検討

開催の目的

市民に開かれた議会を目指すとともに、議会活動を広く理解していただけるよう議会の活性化に取り組んでいます。

「高校生議会」は、その取り組み及び**主権者教育の一環**として、**未来を担う高校生が模擬議会**を体験することにより、**市政や議会など政治に関心を深めて**いただくことを目的に開催します。

高校生議会開催の検討

他事例（伊勢市議会：ホームページより引用）



スポーツ施設等特別委員会

スポーツ施設等の整備に関する事項

スポーツ施設等の管理運営に関する事項

委員長 中村 義彦

副委員長 木谷 直子

委員 三納 昭博、中村 和流、畠中 勝己、
朝倉 雅三、岩見 博

スポーツ施設等特別委員会



※現状と整備イメージ

野々市中央公園 拡張整備事業について

1. 事業の概要と基本計画の目的

2. 計画の流れ

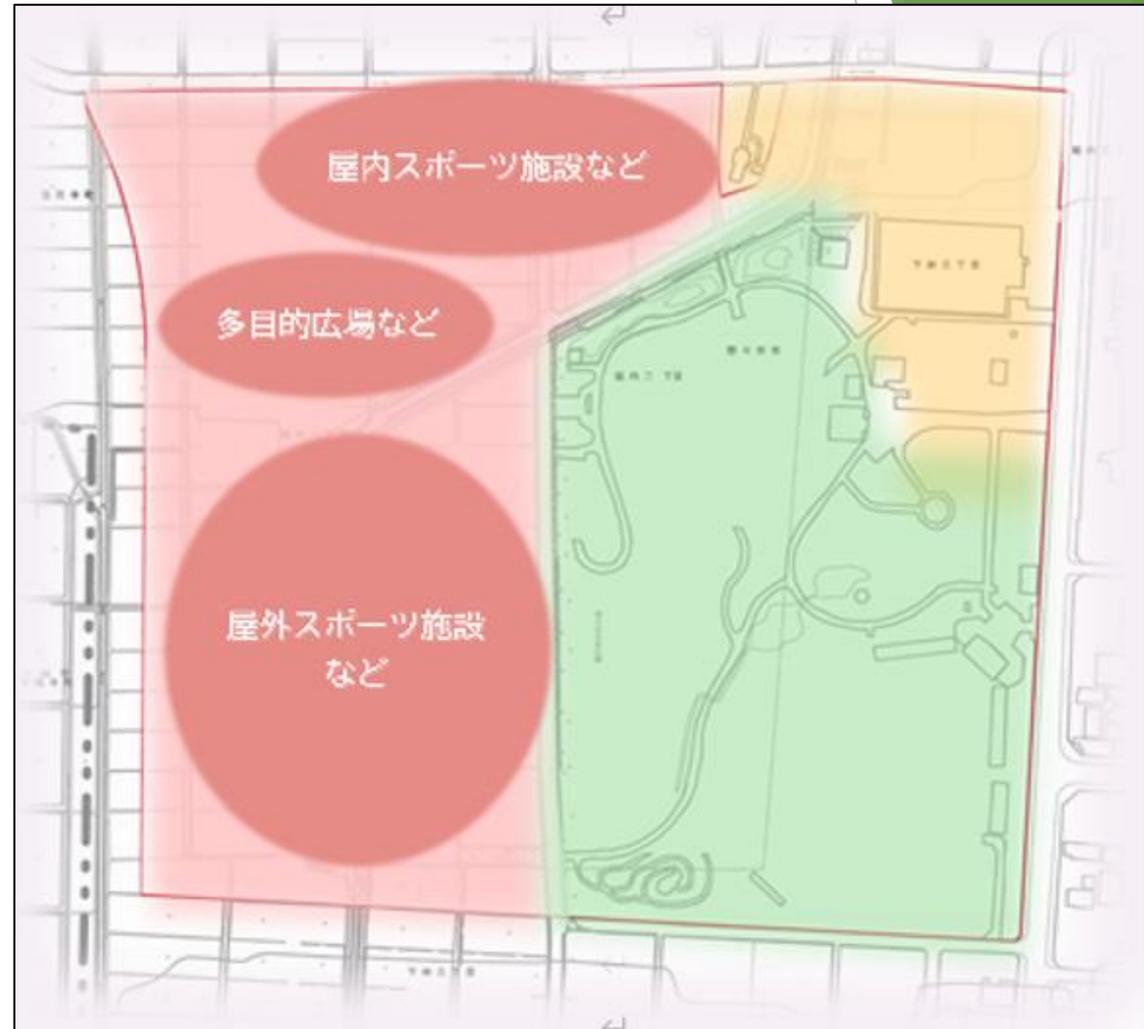
- (1) 市民ニーズへの対応
- (2) 検討委員会での意見
- (3) サウンディング調査
(民間事業者からの意見)



3. 基本方針と土地利用ゾーニング図

基本方針

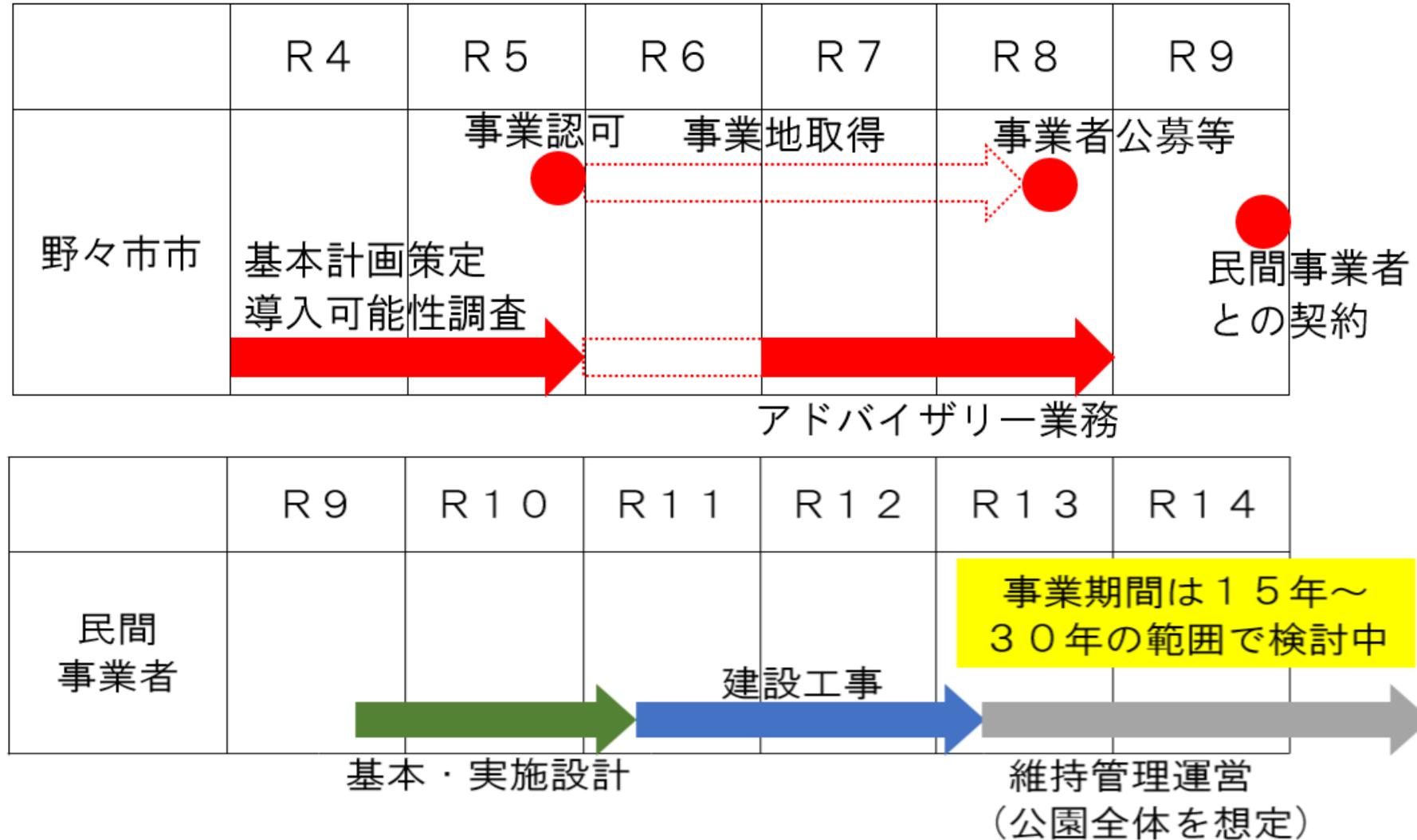
- 1 市民と豊かな自然が共生する憩いの空間づくり
- 2 スポーツの振興による地域のにぎわい創出
- 3 地域防災力の向上による安全・安心な拠点づくり
- 4 既存施設も含めた公園機能の



土地利用ゾーニング図

4. 事業手法

5. 事業スケジュール（PFI事業の場合）



提 言 書

1. ローカルファーストを重視した建設・運営を行うこと
2. 競技スポーツ・参加する・見る・親しむ・楽しむ・語るスポーツに配慮した施設運営を行うこと
3. 財政負担軽減のためPFI／PPP等最適手法を検討すること
4. 従来施設の位置づけを検討すること
5. ののいち椿館・椿山との調和を図ること
6. パラスポーツにも配慮した施設を検討すること
7. 市民交流拠点及び避難拠点への活用を行うこと
8. 立体駐車場を検討すること
9. 都市公園区域の見直しを行うこと
10. 今後全庁横断的なプロジェクトチームの設置を行うこと

野々市市議会 報告会

事前に頂いた、ご質問・ご意見
について

Q 「暫時休憩」となった際の、再開予定を伝える事は出来ないか？傍聴者はとてもこまります。一般質問時の際、伝えられますが、他の本会議の際伝えられない事が多々ある。

A 会議の途中で「暫時休憩」をする主な理由としては、休息、食事、議事運営に関する協議・準備などがあります。休息や食事など会議再開時間をあらかじめ見込める場合は、再開時間を事前に宣告します。

一方で、議事運営に関する協議・準備など、再開時間をあらかじめ宣告することが困難な場合は、事前の宣告を行わないことがあります。

全国の地方議会議事運営の事例を研究しながら、円滑な議事運営に努めてまいりたいと考えております。

Q 市内公園にあるトイレの整備をお願いします。災害時には重要な事であり、古い物の改修及び個数の増加をお願いしたい。

A 市内には街区公園93か所、近隣公園3か所、地区公園1か所、総合公園1か所、歴史公園2か所、都市緑地30か所の合計130か所の都市公園が整備されています。

(R6. 3. 18現在)

そのうち、トイレ施設を設置している公園は16か所です。既設トイレにつきましては、適切に維持管理されているか、市の動向を確認していきたいと考えております。

また、トイレの増設につきましては、貴重なご意見として受け止めさせていただきます。

Q 道路のライン、横断歩道について歩道が無い道路の路側側（白線）、横断歩道等（停止線）の色が薄くなっている個所は補修を急ぐべきと感じます。

近年なかなか補修されていないように感じますが、事故が起こってからではなく実施して頂けるよう議会からの質問をお願いします。

A 路面標示は、道路における交通安全の円滑を確保し、道路構造を保全する目的で設けられ、路面標示のうち、①道路標示は石川県公安委員会が設置（道路交通法）し、②区画線は各道路管理者が設置（道路法）することとなっております。

市道路線は現在、総延長約270kmであり、公共施設総合管理計画に基づき維持管理に努められているところではありますが、区画線につきましては、幹線道路を中心に摩耗の激しいところから優先順位を見極め、適切な維持管理に努めるように、市に働きかけていきたいと考えております。

Q 野々市市LINEに登録している。いろいろな情報がいち早く送られてきて、とても役に立っている。LINEを使って市民の意見を聞くのはどうか。

A 現在の市の公式LINEには、ご質問の機能はないとお聞きしています。

市民の意見がより届きやすい手法については、総務産業常任委員会の委員間で議論するよう要請したいと考えております。

Q 野々市市のHPの各ページの最後に、感想を書く欄があるが、その欄に記入はあるか？どのくらいの感想が寄せられているか？

A 令和5年4月1日から令和6年3月24日現在で、637件の感想をいただいております。

そのうち、議会に関する感想は5件です。

Q 常任委員会、特別委員会の傍聴について：以前（平成25年7月23日）に伺った時には、委員会傍聴は、委員長の許可により傍聴できるが、執行部で席が埋まってしまい、あまり空席がない。との事でした。現在も同様の状況でしょうか？

A 当時（平成25年）各常任委員会や特別委員会は議会棟2階の委員会室で開催されましたが、現在は議会棟3階の全員協議会室で主に行っています。

各委員会傍聴につきましては、各委員長の許可が得られれば、どなたでも傍聴することができますが、席に限りがありますので、事前に議会事務局までお問合せください。

Q 子ども議会の開催状況を教えてください。
(新型コロナウイルス感染症の流行もあり未開催かも知れません) ~平成29年度開催。

A 平成24年度から平成29年度にかけて、市内小学校を対象に、毎年夏休みに「子ども議会」を市教育委員会の協力のもと開催しました。平成24年度は市内5つの小学校より選抜した児童による「子ども議会」において、子ども自身の手で「野々市市子ども憲章」を制定しました。

平成29年度で、すべての小学校において「子ども議会」を開催したことから、現在は「子ども議会」を行っておりませんが、主催者教育の一環として、成人年齢が18歳に引き上げられたことに伴い、若年層の方々へ市議会に対する関心を持ってもらうことを目的とする「高校生議会」の開催に向けて、議論しているところです。

Q 開かれた議会への議会改革の一環として、「議会だより」が発刊されています。素晴らしいことと思いますが、以前（第2号～第12号）は「市民の声」が掲載され、議員さんとの距離を近く感じました。今後の企画を待ちたいのですが、再度「そのよ様な事柄」の検討をなされたら如何でしょうか。

A 以前は、議会だよりの最終ページに「市民の声」という枠を設け、各議員が輪番制で市民の方にお問い合わせ、ご了解をいただいた方に原稿作成を依頼していました。

市民の声を聞くために、令和4年度に議会として「市民アンケート」を実施しました。また議会報告会も開催しております。今後も市民に開かれた議会を目指し、活動してまいりたいと考えております。

Q 先般の能登半島地震に関して、当市の防災行政が学習したことはありませんでしたか。あればどのようなことでしょうか。

A 本市では野々市市地域防災計画に基づいて、防災に関する業務を主に執行いたしております。同計画は市長を会長とする20人の外部委員会で構成された防災会議で作成され推進されています。

今般の市議会の代表質問において、市は「現在も被災地支援に市職員派遣などを行っている状況であり、今回の地震を踏まえた検証などをこれから行う予定である。」と答弁しています。その上で地域防災計画をはじめ、関連計画の見直しなどを柔軟に行っていくと受け止めています。

議会では、市議会災害対策会議や所管の総務産業常任委員会の場で、主に防災に関する議論をしています。

市議会として正確な情報を市民と共有することが大切であると考えています。

Q 基本構想に「市民協働のまちづくり」とあるが、議員から具体的な提案はあるのか。またその予算付けは。

A 5年ほど前、議会からは、かねてよりSDGs未来都市選定を目指すべきと提案してまいりました。その結果、昨年、本市はSDGs未来都市に選定され、特に優れた事業を提案する「自治体SDGsモデル事業」の選定も受け、令和6年度は本格的に事業に着手されます。

SDGs未来都市の事業を進めていく上で、市民と行政が一体となり、市民協働で持続可能なまちづくりを進めていくことを念頭に置いた上で、本事業に986万3千円の予算がついております。

Q 現在、椿荘に避難者を受け入れているが、いつ頃までと考えているのか。そろそろ、自活できる方向への支援が大切ではないか。長期にわたる輪島の方々への対策・交流をしてはどうか。

A 本市では3月26日現在、県災害対策本部の要請を受けまして、市老人福祉センター椿荘で63人、市役所ホール椿で10人の避難者を受けて入れるところです。被災地では現在、仮設住宅整備やインフラ復旧作業等が進められています。2か所の避難所については、市職員が常時2人配置されており、避難者の様々なニーズやご相談に寄り添った対応をいただいていると感謝のお言葉もいただいております。また、市社会福祉協議会を中心としたボランティア団体による炊き出し等のご支援を通して、交流なども行われている状況であり、市議会といたしましては、このようなご支援の輪が広がっていることに敬意と感謝の念に堪えません。

「がんばろう能登」を合言葉に、広域自治体と連携を強化しながら、被災者支援に引き続き務めていくことと受け止めています。

Q 学校の先生方の負担軽減が必要と考える。その取り組みは？

A 令和4年度から、総合型公務支援システムが導入されました。情報を一元管理及び共有することにより、教員の業務改善が進んだと伺っております。

また、令和5年度から給食費と一部教材費について、公会計化が実施され、学校での会計業務が軽減されました。

新年度（R6）からは中学校に自動採点システムが導入されます。採点のスピードアップ、精度の向上、採点結果の集計等の機能により、教職員の負担軽減が図られるものと期待いたしております。

全学校に、必要に応じた特別支援教育支援員や派遣教育相談員の配置、市を通す各学校への配布物は、できる限り学級別にしたものを送付するなど、負担を軽減する取り組みが行われていると受け止めています。

Q 部活動の地域移行を進めるべきではないか。

A 休日の中学校部活動地域移行について、令和5年度はスポーツ庁の実証事業を受け、「柔道」をモデル事業として実現されました。

令和6年度もスポーツ庁の実証事業を実施し、4つの部活動地域移行を目指しているところと伺っております。

また、各校に部活動指導員が1人ずつ配置されております。部活動の地域移行につきましては、所管の教育福祉常任委員会の中で、引き続き議論されるものと受け止めております。

Q 旧北国街道通りの賑わい創出として日常的な事業要請に何があるのか。

A 北国街道周辺の課題として、「地域資源を活用したエリア的な地域のにぎわいづくりの不足」「日常利用や来訪のきっかけとなる理由、魅力的な商店等施設の不足」「地域資源や価値を将来世代へ引き継ぐ取り組みの不足」が挙げられています。

こうしたことから、現在、市では北国街道の歴史的街並みを保全するための修景基準の策定（R4）や、歴史的建築物の修理に対する補助制度の創設（R5）を行うとともに、新年度は北国街道に商業店舗の出店を促す補助制度を創設し、北国街道の魅力向上、にぎわい創出に向けた取り組みを行うと、先の本会議で市長から説明を受けております。

議会といたしましては、周辺エリア居住の方々のご協力を地元の方々の熱意が不可欠であると受け止めておりまして、事業の進捗を注視してまいります。

Q 市議の皆様が持つ、野々市市の未来ビジョンを聞かせて頂きたい。

A とても大切なテーマであり、各議員がどのような考え方を持っているのか、市民の皆様にとって関心の高いテーマだと受け止めております。

議員15人のそれぞれの考え方を示すことができるように、例えば次回の議会報告会の中で、回答枠の時間を設けるのか、市議会のホームページの中で回答を示していくのか等の議論を、議会改革特別委員会に要請していきたいと考えております。

Q 住みやすさランキングなども上位にあるが、議員から見た、野々市市の現状と課題について教えて欲しい。市民として、ドキドキわくわくする野々市の将来の話も併せて教えて欲しい。

A 各議員から見た「野々市市の現状と課題」については、主義主張に基づいた政策面からの見解がそれぞれに異なるため、15人の見解を示すことができる機会を設けられないかと考えております。

「ドキドキわくわくする野々市の将来の話」についても同様に15人の議員の見解を示すことができる機会を併せて設けられないかと考えており、議会改革特別委員会に要請していきたいと考えております。

市議会では「議場コンサート」の開催に向けて、今後、議会運営委員会で協議してまいります。

Q 日本の建国についていかがお考えですか？

A 日本では、昭和41年より2月11日は建国記念日として法律のなかで「建国をしのび、国を愛する心を養う」と規定され、国民の祝日に加えられました。

「古事記」や「日本書紀」で初代天皇とされる神武天皇が即位された日を明治時代に具体的な日付として、また戦前では「紀元節」とも言われていました。

「日本の建国」については15名の議員がそれぞれの考えを持つことから、市議会として統一した見解を示すことは難しいと考えます。

議会報告会

閉会の挨拶

野々市市議会 第1回 報告会

皆様、気をつけてお帰り
ください。